# 都市再生整備計画 事後評価シート アイランドシティ地区

平成23年3月

福岡県 福岡市

# 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名			福岡市	福岡市		也区名	アイランドシティ地区				面積	97.2ha	
交付期間	平成18年度~平成22年度		事後評価実施時期		平成22年度		交付対	交付対象事業費		924百万円 国費率		0.42		_		
	当初計画に			事業名												
1)事業の実施状況	位置づけ、		公園事業(アイランドシティ中央公園)、地域生活基盤施設(まちかど広場・老人いこいの家)、高質空間形成施設(歩道整備、沿道緑化、まちかど広場整備)、高次都市施設(公民館)													
	実施した事業	提案事業	地域創造支援	域創造支援事業(道路〔車道・電線共同溝〕整備、敷地内緑化、アート設置)、事業活用調査(事業効果把握調査)、まちづくり活動推進事業(歩行支援												
	当初計画		事業名 削除/追加の理由								削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	から	基幹事業	il													
	削除した		ᆘᆉᄼᆙᆂᅷ	は創集士福東衆(ネインニンの党)					地域における防災機能の向上に資する公共公営施設の整備に該当するた				+~I			
	事業	提案事業	地域創造支援事業(老人いこいの家)						め、提案事業地域創造支援事業から基幹事業へ変更 地域における防災機能の向上に資する公共公営施設の整備に該当するた				'&C			
	新たに追加し	基幹事業	地域生活基盤施設(老人いこいの家)						地域にあげる防災機能の同工に買りる公共公宮施設の登備に該当りるにめ、提案事業地域創造支援事業から基幹事業へ変更				なし			
	た事業	提案事業														
	交付期間		平成1	8年度~平原	<b>艾22年度</b>	交付期間の変更による事業、										
	の変更	変 更			従前	指標、数値目標への影響 直 目標値			   数 値   目標   1年以内の				効果発現要因 フォローアップ			
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況		指 標	指標		単位		旦 日保 基準年度			評価値	達成度	達成見込み	(総合所見		予定時期	
	指標1 まちの美しさ評価		評価	%	54.0	H14	70	目標年度 H22		62.3	Δ	あり なし ●	まちの美しさ評価(その他指標1)は 評価は非常に高く、福岡市全体の間はしていると思われるが、目標値ま	評価をあげることに貢献	H24.4	
								<u>!</u>					は至らなかった。 照葉小中学校、公民館・老人いこいの家などの敷地内縁			
	指標2	みどり率		%	9.9	H17	15	H22	_	15.4	0	あり なし	により、豊かな自然環境と共生する 出し、さらに分譲地への緑地協定等 増加を推進したことが、みどり率の る。	る美しい街並み景観を創 等により、地区内の緑の	H23.4	
	指標3	コミュニティ活評価	ニティ活動の活発度		23.4	H14	50	H22		21.6	×	あり なし ●	コミュニティ活動の活発度評価(その ドシティ内での評価は高いが、福岡 がっており、限定された地区での評い結果となった。	間市全体の評価は、下	H24.4	
	指標4	まちの安全評	严価	%	49.9	H14	70	H22	<del>.</del>	60.6	Δ	あり なし ●	まちの安全評価(その他指標4)は、 評価は非常に高く、福岡市全体の はしていると思われるが、目標値ま は至らなかった。	評価をあげることに貢献	H24.4	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標			単位	従前値(比	較値) 基準年度	目標化	直 目標年度	数 モニタリング	値   評価値	目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現 (総合所見	見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の 数値指標1			%	61.8 (市全体)	H21				97.2			都市公園整備、沿道緑化、歩道のカラー どにより、美しい街並み景観や緑豊かで 間の形成が図られたことが、アイランドシ 非常に高い評価となったことに寄与した。	でゆとりや潤いのある都市空 レティ居住者の美しさ評価が	-	
	その他の 数値指標2	アイランドシティ居住者の緑への 満足度評価		%	33.5 (市全体)	H21			<u> </u>	67.1			都市公園整備、沿道緑化、敷地内緑化な や潤いのある都市空間の形成が図られ 住者の緑への満足度の高い評価に寄与	たことが、アイランドシティ居	_	
	その他の 数値指標3			%	23.1 (市全体)	H21			_	44.0			公民館、老人いこいの家整備により住民 きたことや、住民参加のワークショップを 土がふれあうきっかけが生まれたこと、さ 設立への支援を実施したことが、アイラン ティ活動への参加意欲を高め、活動が浸 思われる。	開催したことにより、住民同 さらには、照葉まちづくり協会 ンドシティ居住者のコミュニ	-	
	その他の 数値指標4			%	58.1 (市全体)	H21			<del>-</del>	81.1			地域の防災施設として位置づけられた公 整備を実施したことや歩道を十分に確保 広場の整備等をを実施したことが、アイラ 対する高い評価に寄与したと思われる。	Rした道路の整備、まちかど ランドシティ居住者の安全に	_	
	その他の 数値指標5				21 (市全体)	H21				5			まちかど広場や公民館・老人いこいの家 スを整備したことにより、地域のコミュニ 防犯意識を向上させたことが、犯罪率を われる。	ティ活動が活発化し、地域の	H24.4	
4)定性的な効果 発現状況	・地域住民が主体となり、夏祭りなどのイベントを開催し、住民の交流の場づくりが行われており、参加者から好評を得ている。 ・地域住民による子育でサークルが組織され、お話会、誕生会などが継続的に実施されている。 ・地域住民が地域内の一斉清掃などの環境美化活動を積極的に行い、美しい街並み景観が保持されている。 ・第7回屋上・壁面・特殊縁化技術コンクール屋上縁化部門で国土交通大臣賞を受賞するなど、みどりあふれる空間として評価されている。															
5)実施過程の評価	実施内容								はは南にも野り	実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリ	ング	to the state of th					都市再生整	市再生整備計画に記載し、実施できた 市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	プロセス		地域創造支援事業(アート設置)の一環として、地域住民が広く参加でき、地域で継続できるような仕組みづくりのきっかけとして、灯明づくりのワークショップを開催した。				都市再生整都市再生整	生登備計画に記載し、美施できた 生整備計画に記載はなかったが、実施した 生整備計画に記載はなかったが、実施した 生整備計画に記載したが、実施した				は同様のイベントを地域が主体となって、継続できるよう支援する。				
	持続的なま 体制の		本地区内に住まわれる方の自治・運営組織として「照葉まちづくり協会」が設立された。   本地区内に住まわれる方の自治・運営組織として「照葉まちづくり協会」が設立された。					都市冉生整 都市再生整 都市再生整	を備計画に記載し、実施できた。  ┣ 協議会の運営等は、地域住民にまかせ、市は後方支援を行う。 を備計画に記載しなかったが、実施した。  協議会の運営等は、地域住民にまかせ、市は後方支援を行う。					を行う。		

## 様式2-2 地区の概要

### アイランドシティ地区(福岡県福岡市) 都市再生整備計画の成果概要 まちづくりの目標 目標を定量化する指標 従前値 日標値 評価値 大目標: 豊かで快適な生活を提案する実験都市として、官民共働による住環境づくり まちの美しさ評価 単位:% 54.0 H14 70 H22 62.3 H22 豊かな自然環境と共生し美しい街なみ景観を創り育てるまちづくり みどり率 単位:% 9.9 H17 15 H22 15.4 H22 50 活力あるコミュニティを創造し、誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり コミュニティ活動の活発度評価 単位:% 23.4 H14 H22 21.6 H22 日標3 多様な世帯が住み続け、新世紀にふさわしいライフスタイルが享受できるまちづくり まちの安全評価 単位·% H14 70 H22 499 606 H22



- ●美しい街並み景観や緑豊かでゆとりや潤いのある環境共生型の住環境整備が進んでいるが、民間開発等のスケジュールの遅れにより、道路やまちかど広場の整備などは、地区内で一部未整備となっている。
- ●公民館、老人いこいの家の整備などにより、地域住民交流の場が創出され、地域活動の活性化が図られたが、今後は、公民館のさらなる活用を図り、利用促進に努めることが望まれる。

●アイランドシティ地区の安全評価については高い評価を得ているところではあるが、地区内に夜間暗いところがあるという意見もあり、今後は、安全安心なまちづくりの視点から、官民共働による住環境づくりが必要である。

と ● 各種事業により良好な住環境整備や地域住民交流の場の創出などは図られたが、今後は、商業、業務施設や、医療、文化施設の立地促進など、生活利便性の向上に取り組むとともに、交通利便性の向上を図ることが課題である。

### まちの課題の変化

- ●今後も、沿道緑化、まちかど広場の整備費補助や、区画道路の整備(電線地中化、歩道の高質化)を進め、美しい街並み景観と緑豊かな潤いのある住環境整備を推進する。
- ●地域活動の活性化や、地域住民主体のまちづくりなどをさらに進めていくため、地域活動拠点施設(公民館)の利用促進方策を検討していく。
- 今後のまちづくり

  ●安全・安心なまちの構築を目指し、防犯パトロール等の地域活動の支援を行なうなど、官民共働による住環境づくりを進めていく。
  - ●今後も住宅供給が進み人口増が見込まれるため、商業・業務施設や、医療・文化施設の立地誘導策や交通アクセスの向上策について検討していく。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)